

# 議会ペーパーレス化を推進します



## 平成27年度の本格運用を目指す

本会議などで配布している議案や参考資料などをデータ化し配布することによりペーパーレス化と事務の効率化を図るため、9月定例会からタブレット67台を導入しました。

タブレットは、議員、幹部職員、議会事務局などに貸与され、今年度中は、ペーパー資料とタブレットを並行して運用し、平成27年度から本格的に運用を開始します。

## タブレット活用方法

- 本会議、委員会などで配布されている議案や参考資料などをタブレット端末でデータにより受け取ります。
- 会議の通知、緊急時の連絡などをメールで送受信します。
- インターネットを活用し、先進自治体の事例などを閲覧します。
- 会議録、例規集などはホームページを活用し、印刷物を減らします。
- カレンダーアプリを活用し、議会、委員会などスケジュールの共有を図ります。

## 削減効果

議会や委員会では、1年間に約26万枚にもおよぶ資料を印刷やカラーコピーしていますが、その資料の印刷などの費用約244万円の削減効果を見込んでいます。

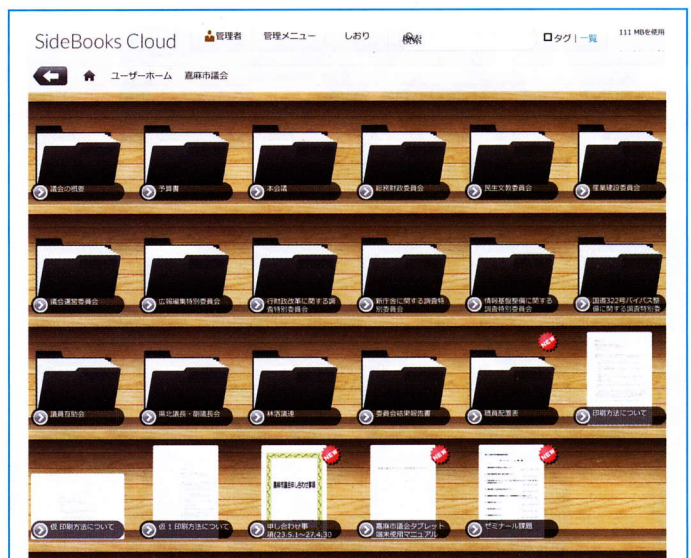
また、印刷やコピーした物を製本する手間や資料の訂正などによる職員の差し替えに要する手間や時間を削減するほか、ペーパー資料の保管スペースを最小限にとどめ、省スペース化を図ります。

## 導入経費

タブレットを導入し会議で運用するに当たり、通信費、クラウド使用料が必要となります。

また、印刷やコピーした物を製本する手間や資料の訂正などによる職員の差し替えに要する手間や時間を削減するほか、ペーパー資料の保管スペースを最小限にとどめ、省スペース化を図ります。

通信費は、最小限の費用で必要なデータ通信量を確保するとともに、万全の補償とバックアップ体制を整えた契約とし、年間約440万円を見込んでいます。また、操作が容易で必要最小限の機能を備えたアプリを活用するためのクラウド使用料は、年間約110万円を見込んでいます。



画面をタッチして必要な書類を開くことができます。